

ボストンに着いて、最初の朝を迎えました。レストランにはパンケーキやオムレツの良い香りが立ち込めています。ウェイターの方が、卵の焼き方やサイドディッシュ（ベーコン・ポテト・トマト等）のオーダーを取りに来ます。何となく英語を使うのが普通になってきたように感じます。Good Morning! Thank you. という会話があちこちで飛び交いました。朝食を済ませた後は、ホテルのロビーに集合して語学学校に移動する予定でした。約束の時間よりも大分早く集合する生徒さんがいる一方で、残念ながら遅刻をした生徒さんもいました。朝食を食べるのが遅くなってしまった、直前でトイレに行っていた…遅れた理由は様々あれど、時間通りに行動出来ている人がほとんどです。これから始まる研修において、同じことを繰り返さないよう榎本先生から話を頂きました。

ホテルを後にして、車はボストンのダウンタウンに向かいます。レンガ作りの建物が多くある街中を抜け、語学学校（ELC）に到着しました。荷物を置いて落ち着く暇なく、早速プレイズメントテスト（英語のクラス分けテスト）が始まります。選択式の文法問題と、インタビュー形式のコミュニケーション問題（リスニングとスピーキング）です。文法は簡単な問題だったようで、「一般的な文法問題だったから、すぐに解けた」というコメントが多かったです。一方、コミュニケーションテストでは、身近な話題、家族のことやクラブ活動のことや、自分がやりたいこと、どんな国に行ってみたいか、将来就きたい職業などを聞かれたようです。授業の様子については、明日のご報告書でお伝えさせていただきます。

テストの後は、ボストン市内の歴史的な場所を散策するフリーダムトレイルに参加しました。アメリカの歴史の中でも、ここボストンで起こった出来事は、非常に重要な意味を持ちます。渡航前に調べた内容を思い出しながら、フリーダムトレイルを案内する赤レンガの上を歩きます。ある程度予想はしていたものの、やはりネイティブが話す英語のスピードは速く、少しぼんやりすると瞬く間に話題が次へと移っていきます。当時の衣装を身にまとったガイドさんは、時に真剣に、時にジョークを交えながら話をしてくださるのですが、ジョークに反応出来たのは数名というところでした。しかし、「学校で勉強した出来事や単語については理解が出来た」と話してくれた生徒さんもいました。

約60分のフリーダムトレイルを終え、再びELCに向かいます。今夜からお世話になるホストファミリーのお宅に送迎してもらおうバンを待ちました。バンが到着したと連絡を受ける度に、顔色が変わっていく人、ため息ばかりつく人、終始笑顔の人と様々な反応がありました。「ここまで来たらどうにかなる！」と決意を固めて、それぞれのファミリー宅に向かいました。明日はプレイズメントテストの結果から、クラス毎に分かれて授業が始まります。もちろん、ファミリー宅から語学学校まで、初めて自分達だけで登校する日でもあります。迷子にならず、決められた登校時間までに到着出来るのか。こちらについては、明日の報告書でお伝えさせていただきます。以上、2日目の報告とさせていただきます。

朝食の様子



ワッフルも作れます



語学学校のオリエンテーション



いよいよテストです



インタビューテスト



フリーダムトレイル①



フリーダムトレイル②



フリーダムトレイル③



ファニユエルホール



ホストファミリーのお宅

